

パブリックヘルス領域 井澤 和大准教授らの取り組みが 英国雑誌「Impact」に掲載されました

2019年8月5日

パブリックヘルス領域 国際保健学分野 井澤 和大准教授らが取り組んでいる『循環器疾患患者に対するリハビリテーションに関する研究』が、英国雑誌「Impact」に掲載されました。

日本では、生活習慣病の蔓延、超高齢社会に伴い、循環器疾患患者は増加しています。また、それは、脳血管、整形外科、代謝性疾患などを併発した重複疾患に起因する諸々の身体・認知機能・活動低下などから日常生活の制限を余儀なくされ、要介護状態にも陥りやすくなります。

本記事では、井澤和大准教授および共同研究者らによって行われている Sedentary Behavior、身体活動、健康関連 QOL、そして Cardiovascular stroke Renal Project (CRP) などについても紹介されています。

記事は[こちら](#)からご覧いただけます。